

高木新太郎氏文書概要

- 1: 文書群番号 074008
- 2: 文書群名 高木新太郎氏文書
- 3: 出所 高木新太郎家
- 4: 家業・役職等 法界寺村庄屋
- 5: 地名 摂津国川辺郡法界寺村／兵庫県川辺郡法界寺村／川辺郡園田村法界寺／
尼崎市法界寺／尼崎市東園田町5丁目ほか
- 6: 行政区分 幕府領・大坂城代領／武蔵国忍藩阿部氏(忠吉系)領／幕府領／兵庫県第
12区／下食満組戸長役場／園田村／尼崎市
- 7: 歴史 法界寺は市域北東部、藻川沿いに位置する。史料上の初見は慶長10年
(1605)。
村高は同年に255石余、元禄15年(1702)に256石弱、天保5年(1834)に
256石余とある。明治2年(1869)の「法界寺明細帳」(『尼崎市史』第6
巻)には家数29軒・人数139人とある。水利は三ツ又井組に属した。氏神
は白井神社、寺院は浄土真宗本願寺派安養寺。
昭和36年(1961)には町名改正により、東園田町の一部となり、法界寺
という地名は消滅した。
- 8: 伝来 市史編集室が調査済みであった本文書群を、昭和50年に高木新太郎氏
が史料館へ寄贈。
- 9: 史料入手先 高木寛治氏
- 10: 点数 387点(目録件数186件)
- 11: 年代 元禄4年(1691)～昭和18年(1943)
- 12: 構造と内容 本文書群は、近世～近代の法界寺村運営に関わる史料が多数を占め
る。
近世土地支配・村方支配に関する史料では、免状・皆済目録・免割
帳・年貢米取立帳等年貢収納関係史料、支配割方帳・勘定帳等がある。
水利では、三ツ又井組等水利維持・普請に関する史料がまとまってお
り、家関係では、金子借用証文、土地譲渡証文等金融関係史料がある。
近代の布達、諸届についての史料地租改正関係史料などがある。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 マイクロプリント(破損甚大のため非公開史料あり)
- 15: 作成者 河野未央